

真鶴

自治会だより

皆、皆が住みよい町に

自治会連合会 視察研修報告

真鶴町自治会連合会会長 朝倉 隆

天候に恵まれた11月12日、真鶴町役場を予定通り午前8時30分に山北方面の視察研修に出かけた。参加者は自治会連合会会員を主に17名と役場総務防災課・青木係長を加えた総勢18名。

視察研修会の目的は、当町と視察先における自治会のそれぞれの課題について相互理解を深め、参考になる活動は積極的に取り入れる。そして、諸課題について視察後も情報共有に努め、自治会のネットワークを構築する。また、それぞれの地域の歴史背景にも理解を深めることである。

午前9時30分山北町・岸連合自治会の本拠地である高齢者生き生きセンターに到着した。連合自治会の正副会長3名と6自治会長の9名が出迎えてくれた。この施設は、土地は連合自治会、建物は山北町の所有で管理・運営を連合自治会が受託しているとのこと。山北町も当町と同様に昭和の大合併で昭和30年2月に1町3村（山北町・共和村・清水村・三保



村）が合併して山北町が発足した。面積は224・6km²と真鶴の約32倍だが、人口は9,320人で真鶴町の1・5倍と人口密度は低い土地柄だ。山北町内には54の自治会と6の連合自治会があり、今回はその1つの岸連合自治会におじゃました。連合自治会は6つの自治会（越地・宿・班目・南原・湯坂・原耕地）から成っている。自治会の加入率は約80%（岸区域内人口2,355人、世帯数1,043世帯、自治会加入世帯832世帯）と真鶴町（加入率41%）と比べると非常に高く、過去の災害の歴史や土地柄も関係していると感じた。それでも加入率は年々減少傾向にあり、自治会活動の課題として、高齢化による役員の担い手不足、役員の負担が大きい、災害発生時の活動体制構築への懸念など、真鶴町と共通している事項も多かった。質疑応答の中では、山北町は転入者に対する自治会加入への勧奨が当町より積極的であると感じた。午前中の会議

の後半は、山北町文化財保護委員の河合剛英氏の「富



士山の宝永大噴火と田中丘陵の治水の歴史」と題する講演で、富士山の大噴火や酒匂川の度重なる洪水と治水の歴史を学んだ。そして、私から田中丘陵が治水の神「禹王」を祀った石祠（享保十一年（1726）を作った岩村の石工・七兵衛が、現在、旧若小學校校庭の前にある通称延命地藏尊（正徳三年（1713）を作った石工・七兵衛と同一人物であることを碑文の年号から推定し、山北との関係（縁）を補足説明して会議を締めくくった。午後は国道246号清水橋交差点を左折し、河内川の頭上125mにある新東名バランスドアーチ橋工事現場を見上げて三保ダムに向かった。管理事務所酒匂川水系の説明を受け、普段は入れないダムの河床監査廊を見学した。

予定通り午後4時半過ぎに、有意義な視察研修を終えて無事に帰着した。

自治会連合会

～ 真鶴町町長との話し合い ～

- ① 町の公共施設に関する町長の考え
- ② 水道管の耐震化について
- ③ 災害時の井戸水の利用について
- ④ 生活困難（ゴミ出し・交通・買い物）の実態と解決について



民俗資料館の廃止や町役場庁舎の移転等、施設再編の話や噂が錯綜し、今後どうなるのか町の将来構想が伝わってこないため不安を抱く住民の声を自治会連合会としても耳にします。また真鶴町の水道管の耐震化率は県下最低レベルで、地震のない平常時でも町内のあちらこちらで漏水が発生しているほど、劣化が著しい状況だと思えます。このような状況下で震災が起きた場合、たちまち町内全域断水となる状況が予想されます。このため個人宅に在る井戸水を災害時の水源として活用させてもらえれば大変助かるのではないのでしょうか。また今年6月の自治会だよりでも取り上げた清掃車が入って来られない地域でのゴミ出し困難の問題、さらにはコミュニティーバスが走っていない地域住民の買い物困難など、自治会として危惧している問題について、11月19日小林町長の考えをお聞きし、自治会からの要望もお伝えしました。

◇施設の統廃合に関しては、来春までに全体像が見える化し、来年度町民と議論・協議を進め最終案を作っていくとの説明をして頂きました。これは広報真鶴9月号の“町長室から”というページにも、「これからの真鶴町はどこに向かったらいいのか？」というくだりに“町民との丁寧な対話が必要だと考えています”と書かれています。その通りだと思います、丁寧に、皆に分かる形で将来像を見せて頂ける事を期待しています。

◇水道管耐震化には更なる財源が必須で、町は財源を増やし支出を減らすのに取り組んでいくのですが、仮に財源豊富でも耐震化には時間を要し、それまで地震は待ってくれないでしょう。能登の震災でも避難生活で一番困ったのは水の問題だとニュースでも再三取り上げられています。水道が使えなくなった時に個人宅にある井戸を活用させてもらうのは有効ではないのでしょうか？いざという時に使わせてもらえるよう、あらかじめ町が井戸のあるお宅と、協定のような取り決めを結べないか町長に検討をお願いしました。

◇ゴミ出し困難とバス路線・便数の脆弱性の問題も財源なくして対応が難しい課題のようです。ただ今後ますます高齢化と人口減が進むのは明らかで、何らかの対策なしでは更に生活困難な町になっていくと思えます。町民が安心・安全に暮らしていける環境にしていく施策を最優先で考えて欲しいとの自治会の考えを町長にはお伝えしました。



(文責：広報部 高瀬哲夫)

ご存じですか？ コミュニティ真鶴の利用方法が変わりました

～『コミュニティ真鶴』の利用についてのご案内～

「コミュニティ真鶴」でできること

- 1、**レンタルスペース〈3部屋〉の利用**（事前予約制／有料）：月曜日～日曜日 9時～21時
使い方例：各種打ち合わせ、仕事、サークル活動、お教室、上映会、チャレンジショップ 他
- 2、**一階コミュニティスペースの利用**（無料）：月・水・金・土曜日 10時～16時45分
- 3、**各種サービス（有料）の利用**：コピー（B5/A4/A3白黒・カラー）・ラミネート（A4/A3）ほか

	これまで	現在
問い合わせ先	町民センター公民館受付	コミュニティ真鶴
問い合わせ方法	電話・町民センター公民館受付へ来館	電話・コミュニティ真鶴受付へ来館・メール
予約方法	手書き申込書	手書き申込書・メール・予約フォーム
お部屋の空き状況を確認	電話	電話・ホームページ
お支払い方法	現金	現金・キャッシュレス決済※ ※導入準備中

詳細はお問い合わせください！

コミュニティ真鶴

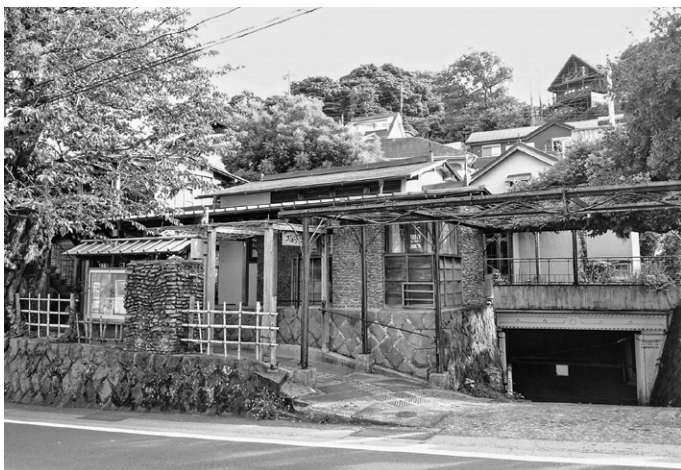
受付 ☎ 0465-68-0789

（受付オープン日時：月・水・金・土曜日10時～17時）年末年始休
mail: info@manazurumirai.jp 一般社団法人真鶴未来塾

料金表など詳細は、HPからも
ご確認いただけます！！



『コミュニティ真鶴』は10月1日より、一般社団法人真鶴未来塾〈まちこ〉が指定管理者として建物の管理と運営をおこなっています。当施設内や中庭等の管理に協力してくださるサポーターの方を募集しています。詳しくはお問い合わせください！！



2024年度 成人学級報告

教育体育部長 小松崎 和夫

前期第一回「美の基準と貴船まつり」

6月14日 出席者43名

講師 真鶴カメラ 松平直之氏

7年前に真鶴に移住され、町の自然や文化に関心を持たれ、まつりへの参加と情報発信で活躍されている松平さんから貴船まつりの現状をお話いただきました。地場産業従事者の減少により存続が危ぶまれているなか、移住者への参加促進の取り組みを紹介していただきました。

前期第二回「ポッチャ体験会」

6月20日 出席者31名

講師 真鶴町スポーツ推進委員

パラスポーツで誰もが気楽に参加できるポッチャをグループにわかれて体験しました。参加者からは、とてもおもしろかったといった声があり、和気あいあいとした雰囲気で開催されました。



後期第一回

「真鶴半島採石場跡の謎」

11月13日 出席者50名

講師

箱根ジオパーク推進協議会

事務局次長 笠間友博氏

採石の基本的な話から真鶴半島採石場跡の謎にせまる講演で、時代を遡りながら壮大なストーリーがありました。真鶴の歴史や文化を知ることができ関心が深まりました。

後期第二回

「転ばず歩ける元気な足づくり」

11月21日 出席者47名

講師 日本フットケア 足病医学会

認定師 義肢装具士 滝澤祐子氏

ナースングホーム真鶴管理者兼

作業療法士 杉田謙太郎氏

いつまでも健康でいられるために必要な足の手入れや靴の履き方を学び、ゴムチューブを使った運動も行いました。



参加者の声

◇今年度の成人学級のテーマは、「故郷を愛し、心も体も健康でいよう」このテーマにピッタリの企画を毎回楽しみにして参加しています。◇講師の話聞いて真鶴がますます好きになります。◇真鶴再発見！ 来年度も楽しみです。◇後期2回目「転ばず歩ける元気な足づくり」友達に「あなたに話している話だったよ。次回一緒に参加しよう」と話しました。◇知的好奇心、探求心が旺盛になりました。ボケ防止に持ってこいの企画です。◇連合自治会の教育体育部会・教育委員会のみならず、来年度の企画楽しみにしています。◇まとめの社会見学（12月4日）も楽しみです。

編集後記

令和6年11月19日、町長との会話を通して思うこと。

物事を知ることにより、判断する姿勢が大事だと思います。また、実施にあたり、町民に知らせ、賛同を得ることが重要だと思えます。

真鶴町の財政が乏しく、大変だと思えます。真鶴町は自然豊かな町です。真鶴が落ち着く住みやすい町になることを願います。

今後の活躍を期待しています。

(伴野芳久)

自治会連合会ホームページ

自治会の活動内容を紹介しています。是非ご覧ください。

